

令和2年度 第2回宝達志水町文化財保護審議会 会議録

日 時：令和3年2月16日（火） 午後2時30分～

場 所：宝達志水町埋蔵文化財センター2階 研修室

出席者

委員 出倉会長、村上副会長、山岸委員、秋田委員、末森委員、金山委員、大窪委員
事務局 細江教育長、坂井課長兼室長、竹森主事、三浦主事

1 開会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 令和2年度文化財保護事業について（事務局から報告）

（1）岡部家・喜多家について

県指定有形文化財 岡部家

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、受付に消毒液、飛沫防止シートを設置。窓口説明業務を委託しているシルバー会員にフェイスシールドを配布。
- ・石川県での緊急事態宣言の発令に伴い、4月14日～5月31日まで臨時休館（シルバー会員は午前中のみ勤務）。
- ・1月暴風雪により、塀垣の倒壊と倒木の被害あり。

国指定重要文化財 喜多家

- ・岡部家と同様に消毒液、飛沫防止シートを設置している。
- ・1月暴風雪により、喜多家雨樋の破損、門扉の破損、倒木などの被害あり。倒木については、業者に発注、3月中の処理を予定。

（2）国・県・町指定文化財について

- ・除草作業について、散田金谷古墳、末森城跡、御館館跡はそれぞれ3回実施、臼ヶ峰往来は2回実施。
- ・末森城跡用パンフレットは1月時点で600部出ている。（昨年度は550部）

（3）地域学習関係

- ・公民館講座「ディスカバリーウォーク」はケーブルテレビによる番組制作を実施。今年度は2回行っており、第1回は今浜から末森城に至る街道、第2回は臼ヶ峰往

来を紹介。

- ・感染者が減少傾向にあった9月には、埋蔵文化財センターを会場に親子を対象とした施設見学と勾玉づくり体験を実施。約20名が参加。

(4) 埋蔵文化財センター関係

- ・企画展「探検！宝達志水の古墳」を9月26日～10月18日の期間開催。(会期中は土日も開館)
- ・散田金谷古墳、石坂鍋山古墳の出土品は個人から借用したものを展示。
- ・今回は、七尾市、羽咋市、中能登町との連携企画展で、各市町の代表的な写真パネル、段ボール模型を借用したものを展示。
- ・新聞に掲載されたこともあり、町内外から100人を超える入館。

出倉会長：事務局、皆さんの方で管理されている指定文化財について、何か報告、意見などありましたらお願いします。

村上副会長：岡部家の塀垣の高さはどれくらいですか。もし、指定範囲外のものであれば、以前のより背の低い塀垣にするのはどうでしょうか。今後も強風の影響で倒壊することを考えれば、以前のような背の高いものにしていない方がいいのではないかと思います。

事務局：今回はたまたま近くに人がいなかったことが幸いではありましたが、今後また同じような被害を受けることも考えて、背の低い塀垣にすべきか検討したいと思います。

村上副会長：また、「ディスカバリーウォーク」についてですが、ケーブルテレビでも放送されたのであれば、それを埋蔵文化財センターの方で流していつでも見られるようにするのはどうでしょうか。また、企画展などの展示の様子も撮影しておき、それを埋蔵文化財センターで流して、見られるようにしてみてもどうでしょうか。細々ではありますが、長い目で見れば費用対効果は見込めると思います。

出倉会長：そういう形で活動を広げていけたらという提案ですので、よろしくお願いします。

秋田委員：地元の人でも白ヶ峰往来を知らない人が多いようです。これからも、白ヶ峰の行き方、白ヶ峰に関連する歴史などを付け加えて、映像で紹介してみてもどうでしょうか。末森合戦や源平合戦など。

出倉会長：私も郷土学をしていたときは「押水のあゆみ」が大変参考になったのですが、旧志雄町も含めた概説書があればいいと思いました。今後は、小中高生向けに町の概説書などをお願いできればと思っております。

細江教育長：小中では、旧志雄町のこと、旧押水町のことをお互いに知らないことが多いようです。予算の関係もありますが、来年度は小学校の歴史教育に使えるラジオ番組の制作を予定しています。議会で予算が承認されてからの話になりますが、ラジオ番組をホームページに載せる、学校に配布するといったことも考えております。押水、志雄の交流につながる活用ができればと思っております。

村上副会長：押水地区と志雄地区の交流という話ですが、一つ良い題材にあげたいのが、「樋川」の呼び方の由来です。調べてみましたが、これがよくわかっていません。かつて樋川は「ひかわ」ではなく、「といかわ」という読み方をされていたこともあり、それは土肥氏との関連性も考えられます。

秋田委員：このようなことを題材にして、町民の目がいくようになればいいですね。

村上副会長：展示したときにビデオに撮って、見られるようにすればいいのではないのでしょうか。

大窪委員：ディスカバリーウォークは何分ほどの番組ですか。

事務局：ディスカバリーウォークは10分程度の番組です。時々、ケーブルテレビで再放送もされています。

村上副会長：DVDのプレイヤーも高額ではないので、ディスカバリーウォークの映像設置を検討してみてはどうでしょうか。

出倉会長：町内の埋もれている歴史を子どもから大人まで啓蒙できないかというご意見であったかと思えます。発表、展開の場はいろいろ考えられると思えますので、委員の方ひっくるめての事業になるかとは思いますが、ご配慮の方よろしく申し上げます。

5 令和3・4年度 能登文化財保護連絡協議会について

(1) 総会について

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の総会中止に伴い、令和3年度は能登町で開催。順番で行けば、令和4年度は宝達志水町で開催。

令和3年度 開催地：能登町

日 程：令和3年 9月下旬～10月初旬（予定）

令和4年度 開催地：宝達志水町

(2) 「能登の文化財」（第55輯）について

今年度の「能登の文化財」（第54輯）について、事務局からまだ届いておらず、届き次第皆さまに配布。

今年の「能登の文化財」（第55輯）のテーマは『災害』。村上副会長に執筆を依頼。

事務局：原稿ですが、以前、村上副会長に書いていただけたということでしたが、執筆の方お願いしてもよろしいですか。

村上副会長：わかりました。岡部家の古文書をセンター外に持ち出す必要があれば、写真など写しを文化財室で作っていただくことがあると思います。

出倉会長：お忙しいところかとは思いますが、お願いします。

村上副会長：執筆原稿の〆切は5月末までですか。目安として何ページほど書けばよいですか。

事務局：〆切は5月末です。原稿は4ページほどで大丈夫かと思えます。

村上副会長：わかりました。テーマは「大海川の塩害」にします。海水塩害によって農作物の税率を下げてほしいという話で地味ではありますが、とても嫌な災害です。以前、講演する人については、金沢大学の人に依頼するという話でしたが。

事務局：今回、コロナ禍により能登町での開催が令和3年度になったため、どのような先生をお呼びすれば良いのかという状況です。能登町での開催が令和3年度にスライドするので。

村上副会長：宝達志水町での総会は、どのようなテーマにするかはまだ決まっていないところですか。

事務局：以前の文化財保護審議会では、令和3年度当町での開催と同時に「能登の文化財」も災害をテーマにするということで、災害関係、地質関係で自然史資料館の方がいいのではないかという話だったのですが、開催が1年ずれたためにどうすべきか悩んでいるというところです。おそらく能登町の総会も講師などの変更は無しでスライドすると思います。

村上副会長：講師だけでもはっきり決めて、予算化しケリをつけておくべきかと思います。ギリギリになって決めると、大変になります。災害というテーマを変えないならば、講師の先生はもう決めてしまった方がいいかと思います。もし、能登町が総会のテーマを災害に決めたとしても、次年度開催の宝達志水町も災害をテーマにすればいいかと思います。

事務局：5月にある能文連の理事会があれば、能登町の方に令和3年度の総会のテーマや講師の先生のことを聞くことができると思います。理事会がなければ、こちらから確認する必要があります。

村上副会長：5月になってから決めていては遅いので、講師の依頼と総会のテーマについては早めに手を打っておいた方がいいと思います。

出倉会長：とりあえず、5月がひとつの目処になってくるのかと思います。打ち合わせなどを事務の方でお願いしたいですね。また臨時で審議会があれば、我々も出席しますので、よろしくお願いします。

村上副会長：総会のテーマをここで決めておかなくていいですか。宝達志水町は災害をテーマにします、と早く旗をあげた方が今後進めやすいかと思います。

山岸委員：なぜ災害がテーマになったのでしょうか。

事務局：節目の年だからです。第50輯のときは仏像が統一テーマで、5回ごとに統一テーマがあります。

秋田委員：節目の年のため、テーマは幹事会、理事会を通して決めることになるのではないですか。うちの町だけでは決めることはできないかと思います。

事務局：「能登の文化財」のテーマは幹事会で提案、理事会で審議するのですが、自由テーマにするとそれぞれの市町で何でもありということになってしまうこともあります。

秋田委員：あまりにもバラバラになってしまうと、統一した方がいいということになる。

事務局：第56輯は自由テーマになるのかと思います。宝達志水町が開催地になる第55輯は節目の輯ということで、災害という統一テーマに決め、講師の人選も災害関係の方でいいのではないかと考えています。

秋田委員：もう一つ、自然観察会も同時並行で進めれたらと思います。

事務局：前回、宝達志水町で開催したときは、6月、7月に宝達山アサギマダラの観察・マーキング、ホクリクサンショウウオのビオトープの見学などがありました。自然保護部会についても考えたいですね。

村上副会長：総会のテーマはないのですね。

事務局：ありません。講師の先生には開催地に関わる話をさせていただいています。

出倉会長：令和4年度の町の大会に関しては金沢大学の先生を講師に招いて、「災害」を全体のテーマに念頭においた大会に持っていきたいというのがここでの意見ということでまとめていただいているのですか。
第55輯のレポートについては、村上副会長に執筆をお願いするというので、よろしくをお願いします。

事務局：災害というテーマについては、総会に係わる講師の先生、自然保護部会の見学場所回る順路については開催地の町から、事務局に報告をしますので、開催地の方で決めることができます。ただ、「能登の文化財」のテーマについては、幹事会と理事会を通して決めることとなります。

出倉会長：「能登の文化財」、総会の件については、これで締めたいと思います。

6 意見交換

大窪委員：埋蔵文化財センターに映像資料は何かありますか。

事務局：文化財室で保管しているものはほとんどないですね。情報推進課などケーブルテレビをかかえているところで映像を保管してあるものが多いです。文化財室で保管しているもので、旧押水町の獅子舞の映像資料があります。集落によってはないところもありますが。宝達葛の様子を撮影したものもあります。しかし、ビデオデッキの都合で見られないのでデータをCDなど他の媒体に移し替える必要があります。役場に旧志雄町の獅子舞の映像資料もあったと聞いています。

坂井課長：以前志雄町でも、今の役場が建った町政50周年のときに、各集落で映像を撮っていたことがあります。

出倉会長：町の方で全体の管理はできていませんか。

事務局：情報推進課の方で撮影しているものがあれば、保管はされていると思います。

出倉会長：今でも獅子舞をしているところは子浦、杉野屋、今浜などですが、山間地域は全滅でしょうか。

事務局：山間地域だと20年前にやめているところもあります。

末森委員：獅子舞の記録は羽咋市の方が、写真、映像データすべて持っていると思います。ただ、資料が膨大すぎてまだ残っているかどうかわかりませんが。その方が元気なうちに協力を求めた方がいいかと思います。

事務局：羽咋市の方から写真だけでも、借用できればと思います。羽咋市では、獅子舞の保存会が立ち上がっていて、毎年2月には企画展もしています。獅子舞をやめたところの紹介はその方から写真を借用しているようです。このような形でこちらでも展示・保管できたらと思います。

出倉会長：獅子舞の管理も心配です。お金・人材を投下してでも、守っていくべき文化ではないかと思います。保存しようと思っている方は何人かでもおられるので、ここ数年の間に動き出していかないと残らないと思います。ケーブルテレビなどを通じて、獅子舞を文化財としてどう保存していけばよいか、という話でしたが、町の方でも本腰入れて考えていただければと思います。

細江教育長：みなさん、今年度も文化財保護審議員として、広く活動していただき本当にありがとうございました。ご都合悪くなければ、来年度からまたお願いしたいと思うのですが、皆さんどうでしょうか。一つお願いしてもよろしいですか。

出倉会長：皆さん、来年度もぜひ、よろしくお願ひします。

7 閉会あいさつ（副会長）

村上副会長：予算・人間的な面でできることと、できないことがあると思うのでそこは選別していけたらと思います。私も文化財の活用と保存はしていたことがありますが、活用と保存は両輪だと思います。ビデオに撮っても半永久的に片付けておかずに、次に使って回していくことが本当の意味での保存で、それが文化財保護審議員の役割ではないかと思います。保存・活用、また保存し直すというサイクルを組むことができればと思います。できることと、できないことを選別して保存活用のサイクルを組んでいけたらと思います。